


A stylized illustration of the number 7. The number 7 is large and blue with a yellow outline. A small girl with pigtails is sitting inside the top loop of the 7. To the right of the 7 is a boy with a single hair curl, wearing a blue shirt, holding a green branch with yellow leaves and a red fruit. The background is a light blue star shape.

<http://syoutokukai.or.jp/sakura/>

イベント予約：9：30～18：00



金：太鼓橋



※イベント等開催日は
上記スケジュールと
異なることがあります。



さくらあそび場の様子や
イベント・講座の情報を
配信していきます♪
是非フォローしてくださ
いね。

この事業は、社会福祉法人
昭徳会が名古屋市の委託を
受けて行っている事業です。

冰凍海龜蛋來來來冰凍海龜蛋來來來冰凍海龜蛋來來來



安全な車でお出掛けしよう！



チャイルド・ジュニアシートの選び方

2000年4月から6歳未満の子どもが乗車する際は幼児用補助装置(チャイルドシート・ジュニアシート)を着用する事が義務づけられました。さらに、JAFによると、2024年9月から車内の子どもの安全性を高めるために使用目安を身長「150cm未満」に変更しています。今回は、大切な子どもを守る為のシート選びの基本的な情報をご紹介します。

年齢別シートの種類

※年齢・体格は目安です

シートベルトは一般的に身長150cm以上を目安に設計されています。着用義務は6歳未満ですが、身長が150cmまでは安全のためジュニアシートを着用しましょう。ブースターシート(背の高さを補う為に座面を高くするシート)も便利です。シートベルトが腰の位置で締めやすくなります。ブースターシートはジュニアシートと違い、背もたれがないデザインです。



シートのタイプの違い

取付方法を 確認しよう！

ISOFIXって何？

昔からあるシートベルト固定式では間違った取付が行われることが少なくなかったため、確実に簡単に取り付けできる国際規格のISOFIXが生まれました。

対策方法

チャイルドシートがイヤ！



6歳未満は着用義務

ジュニアシート推奨



ベビーシート

月齢：新生児～1歳未満
体重：10kg未満
身長：70cm以下



チャイルドシート

年齢：1歳～4歳頃
体重：18kg未満
身長：100cm以下



ジュニアシート

年齢：3歳～10歳頃
体重：15～36kgくらい
身長：150cm未満



ベビー & チャイルドシート、チャイルド & ジュニアシートなど成長に合わせて兼用できる仕様のシートもあります。買い替える機会が少なくなり、ずっと同じチャイルドシートなので、子どもも乗りなれたシートで過ごせるのがメリットです。



回転式

- ドア側にシートを回せるので子どもを乗せ降ろしがしやすい
- 成長に合わせて乗せ方を前向き・後ろ向きに変えられる
- ✗ 固定式に比べて本体が重いこと・値段が高いことが多い

固定式

- デザインがシンプルでコンパクトなため、軽量
- シートベルトを使って取付することが多く、対応車種が多い
- ✗ 回転式に比べて子どもの乗せ下ろしがしづらい

シートベルト固定タイプ

- ・シートベルトがあればほとんどの車で取付可能

ISOFIX(アイソフィックス) タイプ

- ・ISOFIX対応の車のみ取付可能
- ・車側の金具にシート側の金具を差し込むだけで取付可能

不安

- ・初めは一人で座ることに不安を覚える場合もあります。「ベビーミラー」は子どもからも運転席を確認することができ、運転手も振り向くことがなく安全に子どもの様子を確認出来て便利です。

退屈

- ・車やチャイルドシートに取り付けられるおもちゃもあります。
- ・吊るせるメリーの様なものや、一緒に運転している気分になれるハンドル型のものもあります。

不快

- ・チャイルドシートに座ったままだと、熱がこもりやすく、熱中症も心配です。チャイルドシートに取り付ける保冷剤付のシートや、扇風機などうまく活用したいですね。

今回の記事を参考にいま一度お子さんのチャイルドシートが正しく使えているか確認してみてくださいね。これから夏休みが始まるなど、お出掛けの機会が増えますよね。チャイルドシートやジュニアシートを正しく選んで安全に、楽しく夏の思い出を作れるといいですね。